



新春特別号

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 藤田 敏明

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>

E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp



撮影：梅津美政 友の会連絡会副会長（芽室町在住）

本年もよろしく お願いいたします

医療法人十勝勤労者医療協会

理事長

浅沼 建樹

専務理事

藤田 敏明

常任理事

石川 千春
片桐 正晃
深町 知博

理事

跡辺 行夫
小倉 美雄
杉野 子久
高中 晴友
中嶋 友隆
村橋 上隆

監事

木田 将純
武井 純

他職員一同

過去最長とも言われる「好景気」ですが、私達の感覚では実感できません。むしろ「不景気のどん底」といった感じです。実態は銀行や大企業中心の好景気で、労働者、国民への利益の還元はなく、むしろその犠牲のもとに成り立っている内容です。これでは消費、購買意欲は出るはずもありませんし私達が実感できないのも無理ない話です。この上にさらに減税要求ですからとても話ですが政府もその気ですからこのままではその方向で進んでしまいます。その穴埋めは消費税増税路線です。国民は甘く見られています。

今年選挙の年です。統一地方選挙、参議院選挙と続きます。私達の生活を守り、要求を実現していく為にも大切な政治戦です。力を合わせて頑張りましょう。自民党は選挙が終わるまではその方向で進んでしまいます。その穴埋めは消費税増税路線です。国民は甘く見られています。

今年選挙の年です。統一地方選挙、参議院選挙と続きます。私達の生活を守り、要求を実現していく為にも大切な政治戦です。力を合わせて頑張りましょう。自民党は選挙が終わるまではその方向で進んでしまいます。その穴埋めは消費税増税路線です。国民は甘く見られています。

過去最長とも言われる「好景気」ですが、私達の感覚では実感できません。むしろ「不景気のどん底」といった感じです。実態は銀行や大企業中心の好景気で、労働者、国民への利益の還元はなく、むしろその犠牲のもとに成り立っている内容です。これでは消費、購買意欲は出るはずもありませんし私達が実感できないのも無理ない話です。この上にさらに減税要求ですからとても話ですが政府もその気ですからこのままではその方向で進んでしまいます。その穴埋めは消費税増税路線です。国民は甘く見られています。

過去最長とも言われる「好景気」ですが、私達の感覚では実感できません。むしろ「不景気のどん底」といった感じです。実態は銀行や大企業中心の好景気で、労働者、国民への利益の還元はなく、むしろその犠牲のもとに成り立っている内容です。これでは消費、購買意欲は出るはずもありませんし私達が実感できないのも無理ない話です。この上にさらに減税要求ですからとても話ですが政府もその気ですからこのままではその方向で進んでしまいます。その穴埋めは消費税増税路線です。国民は甘く見られています。

あけまして

おめでとーございます

理事長 浅沼 建樹

医師会長と看護協会 支部長をおむかえし

浅沼 明けましておめでとございます。今日は私どもが日頃からお世話

になっていきます医師会の

吉田会長と看護協会の山

川支部長さんをおむかえして

います。お二人には懇談する機会をいただき

まして大変ありがとうございます。

昨年

は高齢者の医療費負担が増え、また診療報酬

改定で療養病床が打撃を受けて根室では隣保院

病院が閉鎖しました。いま医療が崩壊して地域が

成り立たない状況が各地で現れています。この

十勝ではどうなっているか、お二人のお話しをお

聴かせいただきたいと思

っています。

浅沼 浅沼先生とは十七

年ほど前に北海道難病連

の全道集会在十勝で開催

された時に、医療班で一緒

していますね。

浅沼 私もまだ若かった頃

です。

浅沼 私は厚生病院には昭和

四十八年から勤務しています

が、看護協会の十勝支部長は一期目

で、今年の五月で二年になります

ます。厚生病院では救急救命

センターなど何回か

救急センターなど何回か

救急センターなど何回か

救急センターなど何回か

救急センターなど何回か

救急センターなど何回か

救急センターなど何回か

救急センターなど何回か

救急センターなど何回か

救急センターなど何回か

救急センターなど何回か

を守るため をあげよう



医師会会長・吉田小児科医院院長
看護協会十勝支部支部長・帯広厚生病院看護部長
若者医療協会理事長・白樺医院院長

医師・看護師不足 十勝の十年後は？

浅沼 医師・看護師不足

が深刻で、小樽や江別、

夕張などの市立病院で医

師が出て行くという状況

もありですが、帯広では

どうでしょうか。

吉田 私は小児科医です

が、帯広・十勝では医師

の偏在が問題です。小児

科や産婦人科、外科など

は新規開業がしばらくあ

りませんし、後継者がい

ないという開業医も多い

んです。

また、医者だけがいて

も医療はできません。私

は医師会の准看護師学校

の校長もやっているので

ですが、十年前から定員割

れが続き、今年は定員七

十人に対して入学者の見

込みは四十人という状況

で、二次募集をしている

ところ。看護師のな

り手が少なくなり、五年

後・十年後には帯広・十

勝の医療はなくなってい



浅沼 建樹 理事長

校一ですが、協会病院の看護学校は各地から委託されていますので十勝に残る人は少なく、また帯広高等看護学院では定員の募集となります。保健師も看護現場で勤務している人が多く、影響は無視できません。これに加えて、昨年から七対一看護が新設されて看護師確保競争が各地で激しくなっています。

浅沼 もともと十勝の看護師養成数は少ないんです。二年前のデータでも、十勝管内の全病院で十対一看護を満たすためには一八九人の看護師不足です。十勝では看護師養成校二、准看護師養成

師学校も卒業生の三割ほどが進学コースに進むのですが、なかには正看護師の資格を取ると戻ってこない人もいます。経験ある准看護師で通信制の進学課程に進む人もいますが、スクーリングなどに出しますので、その間、現場は大変です。

(編集部注)

【十対一看護】昼夜平均すると入院患者十人に対して一人の割合で看護師が配置される体制。

【七対一看護】同様に、入院患者七人に一人の割合で看護師が配置される看護体制。

せんでした。某新聞が失礼にも「医師会は無抵抗症候群」と書いたほどです。医療難民・介護難民は大変なことですが、多くの病院は療養病床の継続も一般病床への転換も、どちらも困難であり対応できないですよ。

行き場のない六万人 医療・介護難民に

医療・介護難民に

浅沼 いま療養病床が経営面で大変になっていま

す。軽症の人を出して重症者だけ残して継続する

にしても、また、一般病床に変わるにしても、看護

師不足の状況では困難です。厚生労働省は、いま

三十八万床ある療養病床を二十万床減らして

十五万床にする方針ですが、日本医師会では療養

病床の緊急調査を行い、

対抗することができま

す。

吉田 国は療養型病床への転換を推奨していたわ

けですから、国の政策に乗せられてハシゴをはず

された様なものです。これには日本医師会も充分

に対抗することができま

す。

浅沼 国は療養型病床への転換を推奨していたわけ

ですから、国の政策に乗せられてハシゴをはず

された様なものです。これには日本医師会も充分

に対抗することができま

す。

浅沼 国は療養型病床への転換を推奨していたわけ

ですから、国の政策に乗せられてハシゴをはず

された様なものです。これには日本医師会も充分

に対抗することができま

す。



山川 京子 支部長

吉田 住みなれた家でみてくれる人がそばにいれば理想的ですが、老々介

かられますね。

浅沼 私の父親を看取った体験からですが、父は

入院してから各科の連携に時間がかかり診断がつくまで半年近くかかった

のですが、診断がつくと慢性期で、往診と訪問看護をやってくれるところ

両方をさがすのが大変でした。毎日でも訪問看護



「看護師増やして」、国立病院と勤医協の看護師が共同

地域医療を みんなで声



新春
しんしゅん
鼎談
だん

吉田 征夫 氏 帯広市 十勝勤労
山川 京子 氏 北海道看護
浅沼 建樹 十勝勤労

護など家庭にはそういう
力はありませんから大変
です。訪問看護も回数
が多いと経済的な負担が
大きいですよ。二十四時
間、往診や訪問看護など
に対応する在宅支援診療
所に挑戦している先生も
いますが、北海道では少
ないですね。

国民皆保険制度守れ 二〇〇〇万人が署名

浅沼 政府管掌健康保険
を都道府県単位に再編し
て医療費を抑えることも
試算されています。北海
道は地域的な事情から高
齢者の入院が多いなど、
医療費が全国一ですので、
者にとって負担ですが、



医師会で集めた署名のお礼のポスター

国民健康保険料も高く
払えない人が増えている
なかで、国保も都道府県
単位に再編していく方向
ですね。統合されると保
険料が更に上がる人もい
ますから、国民皆保険制
度が崩壊するのではない
かと心配ですね。

吉田 市町村合併すると
人口の少ない町の住民か
ら不公平感が出されます
が、国保の統合もそれと
同じ様なことが起こるの
ではないでしょうか。

浅沼 相次ぐ医療制度の
改悪には私たちも地域の
皆さんと一緒に反対運動
をすすめたことが、医師
会では一七〇〇万人、他
の団体も合わせると二〇
〇〇万人の署名が寄せら
れました。

吉田 医師会も全く抵抗
しなかった訳ではないん
ですよ。障害者自立支援
法には無警戒で検討する
間もなく通されてしま
いましたが、医療改革関連
法案に対しては「国民皆

地域の医療連携 医療と介護の連携

浅沼 私たちは地域の医
療や国の動向等も一番わ
かる立場にいますので、
困っている人たちのどう
するか考えていかなけれ
ばならないのですが、今
後の地域の医療をどう組
み立てていったらいいで
しょうか。

吉田 帯広は十勝の真ん
中にありますから、救急
医療も帯広を中心に体制
を整備するなど、医療機
関の役割分担と連携が必
要です。厚生病院など核
になる大病院は急性期の
入院中心に診療し、外来
は地域の医療機関からの



吉田 征夫 医師会長

浅沼 十勝勤労協は一病
院・二診療所で様々な疾
患の患者さんを受け入れ
ていますが、小さな医療
機関ですから自己完結の
医療ではなく、急性期の
重症患者さんは厚生病院
はじめ市内の病院に送る
などの連携が必要です。
落ち着けばまた戻り、良
くなれば退院し、普段は
在宅で往診や訪問看護な
ども利用し、何かあれば
入院し、必要な時はまた
他の病院と連携する、ま
た医療と介護も連携して
いく、この様に患者さん
を中心とする流れが網の
目のようにできるといい
ですね。

浅沼 そろそろ時間です
ので、鼎談の締めくくり
として今年の抱負などを
お聴かせください。
吉田 抱負という程のも
のではありませんが、私
たちは安全・安心な医療
をどう提供するか、これ
が一番です。そのために
病院と診療所の連携はも
ちろん、介護分野の皆さ
んとの連携も必要です。
そして、医療を受けるこ
とに格差があつてはなり
ません。医師会と住民と
立場は違つても国民医療
を守ろうということでは
一致できます。国民皆保
険制度と地域医療を守る
ために、みんなで声を出
していくことです。

浅沼 私たちも、十勝の
中で自分たちが何をやれ
るのか、何をしていくこ
とが患者さんや地域から
求められているのかを明
確にしていくこと、医療
と介護の連携で在宅で療
養する人たちを支えてい
くこと、また地域の先生
と顔もわかりあつて連携
していけたらなと思つて
います。
最後に、吉田先生も言
われましたが、地域医療
を守るため、みんなで声
をあげていくことが大事
ですね。それを今日の結
論といたしまして鼎談を
終わらせていただきます。
本日は有り難うございま
した。



いま、みんなで
声をあげるとき

第8回友の会世話人交流会

～企画のご案内～

I. 全体講演

- 講演 住み慣れた地域で安心して暮らしたい
～これからの医療・介護の情勢にふれながら～
講師 藤田 敏明 氏（十勝勤医協専務理事）

II. 分科会

- ① 「住み慣れた地域で安心して暮らすために」
- ② みんなで交流・平和ひろば
- ③ ドクターと気軽にトーク
- ④ 「百人一首」を楽しもう
- ⑤ 料理教室
- ⑥ 「ふまねっと」を楽しもう ～健康づくり～

III. 夕食交流

- ① 個人・友の会からの出し物

日程 2007年1月20日（土）～21日（日）
場所 十勝川温泉 笹井ホテル

友の会連絡会コーナー 生き生き広場

健康相談会で 五名の新規会員

豊頃友の会
一月二三日、豊頃町

中央区コミュニティセンターにおいて、十勝勤医協本部より二名を招き、『豊頃友の会』と地域住民を対象に約二時間にわ



予想をはるかに超えた参加者

たり健康相談会が行われました。
この地域での相談会は初めての取り組みでしたが、五名の新規会員を迎え、二名が参加しました。はじめに、本部の藤田さんにより検査の説明を受けた後、「血液サラサラ君」を使用しての「血液サラサラ度チェック」と体脂肪の測定が行われました。
血液検査では、血液が「サラサラ」か「ドロドロ」かをテレビ画面で見ることができ、参加された皆さんは画面に写された自身の血液状態を食い入るようにつめていました。
また、夫婦の血液の状態が似ていることに驚く方もおりましたが、「生活習慣が一緒だと血液の状態も似てくるんですよ」

と説明を受けていました。検査後、参加者は藤田さんより健康に留意するための説明を熱心に聞き入り、健康に対する認識の深さがうかがわれました。

（豊頃友の会

岩井 明）

鹿追在住の元看護師が 血圧を測定

鹿追友の会

一月五日、昨年引き続き健康相談会が鹿追町民センターで行われました。

健康相談会では、町内から一〇名（新たに四名が会員）が参加し、血液サラサラ度チェックと血圧測定を行いました。一年前、相談会に参加された田村誠子さんが「私看護師で血圧測定だった

ら手伝える」と申し出がありました。その言葉に甘えて、電話でお願いしたところ、快く引き受けて頂きました。
友の会連絡会から参加した石沢事務局長は「健康相談会など地域の要望をどしどし発信してほしい」と話し、参加者から来年もやってほしいと出されました。



血圧を測る田村さん

読者の声

「改革」が「改悪」であつてはならない

村上礼二郎さん（帯広市）

「教育基本法改悪」「憲法改悪」の流れが進んでいます。改革とは、新しくよいものに変えることです。改革が改悪であつてはならないのです。改革が改善でなくしては意味がありません。

入院生活で 健康の大切さを実感

水内 幸恵さん（帯広市）

この度、病院で入院生

活を送り、自分の健康は自分で守ることの大切さを学びました。ただいくら気をつけていてもどうしようもない病気もあることもわかりました。
友の会ニュースは家族で読んでいます。今後も役立つ情報をよろしく！

「大腸ガン検診」 結果に一安心！

乾 静子さん（幕別町）

先日大腸ガン検診のキヤンペーンにのせて貰いました。なかなか自発的に受けられませんでしたので助かりました。本当にありがとうございました。結果はよくて一安心で仲間を増やそうと友の会員づくりに声かけましたら入ってくれるようです。

頭の体操

次ぎの四つに共通の漢字を入れて、四字熟語を完成させてください。

①「〇暴〇棄」

意味：やけになって自分の身を粗末に扱うこと

②「〇由〇在」

意味：自由に思い通りにできるようです

【応募方法】

解答とお名前、住所、電話番号をハガキか電子メールで、左記へお送りください。

【宛 先】

〇郵送
〒〇八〇一〇〇一九
帯広市西九条南十一丁目
十勝勤医協会館内

【締め切り】

一月二〇日（当日消印有効）。発表は第二七四号（三月号）紙上です。

【第二七〇号の当選者】

答えは
「一生」でした。
応募総数一〇四通、正

友の会ニュース編集部
〇電子メール
soshiki@tokachi-kin-ikyoor.jp

【賞 品】

抽選で一〇名の方に、千円分の図書カードをお送りします。

【締め切り】

一月二〇日（当日消印有効）。発表は第二七四号（三月号）紙上です。

【第二七〇号の当選者】

答えは
「一生」でした。
応募総数一〇四通、正

各友の会連絡先

【友の会連絡協議会】
〇一五五二二四一四四
【音 更】重堂 清子
〇一五五四四二二二四
【土 幌】和田 鶴三
〇一五六四七四四三三
【上士幌】山本 政俊
〇一五六六六二二〇八九
【新 得】西田 義雄
〇一五六六四一五八二八
【清水】妻島 靖子
〇一五六六三二二五七八
【鹿 追】武田 耕次
〇一五六六二二二七六
【芽 室】米倉 興幸
〇一五六六二二二三八九
【中札内】西村 和正
〇一五六六二二二七四
【更 別】小刀 裕博
〇一五六六二二二六五七
【大 樹】有岡 繁
〇一五六六二二二二八
【広 尾】旗手 恵子
〇一五六六二二二二五〇七
【幕 別】野原 恵子
〇一五六六二二二二二七五
【札 内】高野 幸雄
〇一五六六二二二二五七八
【忠 類】増田 武夫
〇一五六六二二二二六〇七
【池 田】吉田 清治
〇一五六六二二二二八六〇
【本 別】加藤 孝一
〇一五六六二二二二四八二
【足 寄】中川エミ子
〇一五六六二二二二四七
【陸 別】餌取 貢
〇一五六六二二二二五九〇
【東 一】藤井 哲夫
〇一五六六二二二二三八二
【柏 一】渡辺 渡
〇一五六六二二二二九二六
【光 南】村上やよい
〇一五六六二二二二五八八
【鉄 南】後藤 等
〇一五六六二二二二四三三
【中 央】福島 保
〇一五六六二二二二一五〇七
【啓 北】山本千代子
〇一五六六二二二二二五七
【栄 一】岡山 啓子
〇一五六六二二二二〇五三七
【開 西】岡本 顕
〇一五六六二二二二四四七
【西 帯広】清水美喜子
〇一五六六二二二二二七八
【西 南】田所 豊之
〇一五六六二二二二五八三
【緑ヶ丘】片石 祐一
〇一五六六二二二二四四三
【白 樺】高宮 裕
〇一五六六二二二二一八八二
【新 緑】渡辺 宗雄
〇一五六六二二二二一六二四
【柏 林台】堀切 忠
〇一五六六二二二二二九五一
【緑 西】村上久美子
〇一五六六二二二二六八五二
【稲 田】平 麗子
〇一五六六二二二二四八〇七五
【大 空】畑中 庸助
〇一五六六二二二二四七〇〇六二
【川 西】伊沢恵子
〇一五六六二二二二五〇六